市町村名	伊平屋村

平成２８年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4－⑬	伊平屋村環境保全整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(11)－イ 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上
担当部課名	住民課	事業実施(予定)年度	平成28～29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－9
事業内容	住民や観光客が安心して村内で過ごせる島づくりに向け、島内かつ県内で処理が困難な廃棄物の適正処理を行う。				
効果発現年度	■当年度　　□後年度(　　年度)				
実施方法	直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他 (　　)				

予算額・執行額【単位:千円】
(「交付金」＋「市町村負担」ベース)

		28年度	28年度(繰越)	29年度	30年度	31年度
予算の状況	(a)当初予算額	63,360	―			
	(b)予算現額	73,376	―			
	(c)増減額(b-a)	10,016	―			
	(d)繰越額	―	4,436			
	A. 計(b+d)	73,376	4,436			
B. 執行済額		39,153	4,436			
うち交付金充当額		31,322	3,548			
次年度繰越額		4,436	―			
執行率 (%) (B/A)		53.4%	100.0%			
予算の状況の説明		天候の影響で当初積算していた数量を超過したため、10,016千円増額補正を行った。 天候不良並びにマニフェスト票発行に時間を要したことから繰越となったが事業を完了した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H28活動目標(指標)		達成状況 27年度	28年度	29年度	30年度
伊平屋村環境保全整備業務委託発注	目　標	( )	(環境保全整備業務委託締結)	( )	( )
	実　績		環境保全整備業務委託締結		
処理困難物の島外への収集収集運搬の完了100%	目　標	( )	(処理困難物島外への搬出 100%)	( )	( )
	実　績		処理困難物島外への搬出100%		

達成状況説明: 伊平屋村環境保全整備業務委託発注を行い、村内での処理困難物を収集し収集運搬を完了した

成果目標(指標)及び進捗状況

H28成果目標(指標)		基準値(　年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(　年度)
伊平屋村環境保全整備業業務委託の完了	目　標	( )	( )	(環境整備業業務委託の完了)	( )	( )
	実　績			環境整備業業務委託の完了		
処理困難物の適正処理完了100%	目　標	( )	( )	(処理困難物の適正処理完了 100%)	( )	( )
	実　績			処理困難物の適正処理完了100%		

進捗状況説明:

・伊平屋村環境保全整備業務が完了した。

・処理困難物の適正処理について、100%実施することができた。

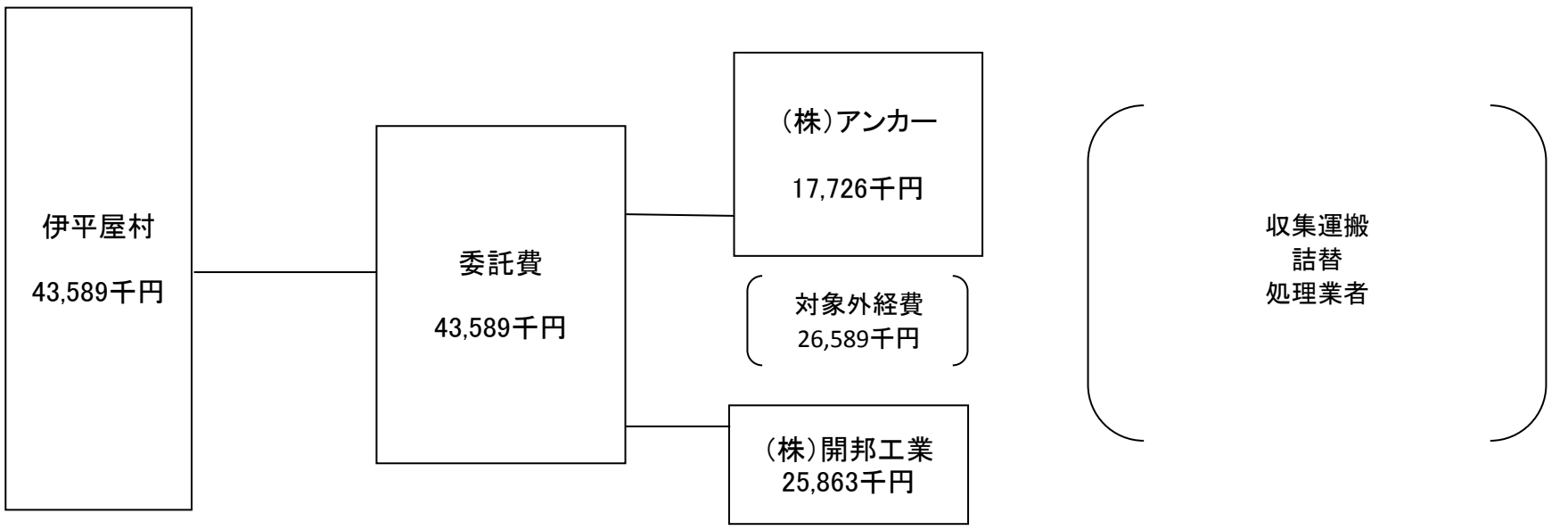
・伊平屋村環境保全整備事業については、H28年度内での完了予定であったが、収集した廃棄物がストック時、雨にさらされ加重し島外搬出に時間を要したこと、処理処分を実施した際に発生するマニフェスト票の発行が年度内では困難であったことから一連の処理が完了できないという理由で達成できなかった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・村内には一般廃棄物処理施設は存在するが最終処分場が不存在の為、島外へ焼却残渣を搬出せざるを得ず、村内の廃棄物量を減量化させる取り組みを行う必要がある。	・減量化への取り組みとして、村民集会や行政懇談会等を通して減量化（廃棄物の分別等）を啓蒙する。

今後の取り組み方針
・減量化を図るため、村民集会や行政懇談会等の場を使って、分別方法や減量化の方法について研修を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
70,178	43,589	34,870	8,719	26,589



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は県外での廃棄物及び工事の業者選定は3社見積により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については見積りによる設計数量の最低地及び最低額を採用してることから適正だったと考える。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのものであり、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	